

第109回 発電用設備規格委員会 議事録

1. 日 時：2024年3月13日（水）10:00～17:40
2. 場 所：Web 開催
3. 出席者：委員27名（委員代理含む）、敬称略

【委員】

笠原委員長（東大）、松永副委員長（東芝 ESS）、伊阪幹事（関西電力）、高橋（理科大）、鈴木（中部電力）、波木井（東電）、堂崎（東北大）、町田（TEPSYS）、浅山（JAEA）、大谷（MFBR）、平野（日立 GE）、渋鎌（IHI）、楠（日本原電）、爾見（発電技検）、中村（川崎重工）、川畑（東大）、三浦（電中研）、朝田（三菱重工）、高柳（電機協会）、増川（火原協）、飯田（JERA、火専長）、高屋（JAEA、原専長）、西井（電源開発、材専長）

【委員代理】

永田（日立 GE、木村委員代理）、戸張（QST、橋爪核専長代理）

【欠 席】

なし

【アドバイザー】

なし

【常時参加者】

なし

【オブザーバ】

野村（CS エンジニアリング）、鬼澤（JAEA）、渡邊（三菱重工）、野本（JAEA）、齋藤（東芝 ESS）、石川（QST）、山田（中部電力）、北条（三菱重工）、志田（東京電力）、森井（関西電力）、中村（大阪大）、森田（電中研）

【事務局】

松岡、中村、渡邊

4. 配布資料

- 109-0：第109回 発電用設備規格委員会議事次第案
- 109-1：第108回 発電用設備規格委員会議事録案
- 109-2：発電用設備規格委員会名簿案
- 109-3-1-1：2024年度 原専活動計画
- 109-3-1-2：2024年度 原専活動計画_ロードマップ案ご意見対応
- 109-3-2：原子力規制庁からの指摘（要望）事項への対応方針（案）
- 109-3-2-1：分科会開催通知の不備に対する対策について（案）
- 109-3-3：高温ガス炉規格検討タスクの進め方に係る提案
- 109-3-4：（配管減肉分科会）表紙_20240313
- 109-3-4-1：減肉推定を活用したT管補強板下の減肉管理（BWR）_規格委提案版【一式】_23NH-002_
- 109-3-4-2：減肉推定を活用したT管補強板下の減肉管理（PWR）_規格委提案版【一式】_23NG-002
- 109-3-5：液体貯蔵タンク座屈解析手法ガイドライン概要
- 109-4：第98回規格委幹事会議事録案
- 109-5：投票結果
- 109-6-1：質問受付・回答状況
- 109-6-2：（欠番）
- 109-7：火力専門委員会報告
- 109-8：原子力専門委員会報告
- 109-9：材料専門委員会報告
- 109-10：核融合専門委員会報告

109-11-1-1 : 20240311_規格類協議会議事メモ_R2
109-11-1-2 : 2-1-1_原子力規制委員会における民間規格の活用について (002)
109-11-2 : 技術評価対応状況
109-11-3_ASME Code Week (2024 年 2 月) 概要報告_20240219
109-11-4 : 規格発行状況(2024-3)
109-12-1-1 : 規格委 No. 623_書面投票意見と対応
109-12-1-2 : 新旧対比表_202X_1 章補遺_規格委意見反映
109-12-2-1 : 規格委 No. 624_書面投票意見と対応 R1
109-12-2-2 : 新旧対比表_202X_4 章_規格委意見反映
109-13-0 : #109 規委_設計・建設分科会 審議案件_R1
109-13-1 : DC22-23_合本_設計建設 2022Ed_公衆審査版からの変更提案_R2a
109-13-2-0 : 2024Ed(その 1)改定提案 _規委書面投票結果
109-13-2-1 : DC21-19_R2_配管応力解析 JIS 長手溶接鋼管許容引張応力_2024. 02. 21
109-13-3-0-1 : 2024Ed_改定提案その 3 _240313 規委
109-13-3-0-2 : 2024Ed_改定提案その 3 _一覧表_240313 規委
109-13-3-1:DC19-03_合本_解説 PMB-3110_JIS_B0131 最新年版反映_R0a
109-13-3-2 : DC23-35_合本_2024Ed_事例規格集_R0a
109-13-4 : SCC 事例規格_第 5 回公開合会コメント回答_r1
109-13-5 : 2024 年版_材料・溶接規格改定提案管理表_240313 規委
109-14-0 : 規格委員会_溶接分科会審議案件
109-14-1 : レーザビーム溶接における確認項目_規格書面投票結果
109-14-2 : 事例規格「デジタル検出器を用いた溶接継手の放射線透過試験方法」の制定 規格書面投票結果
109-15-0 : 資料リスト
109-15-1 : 原子炉内表面の試験要求の合理化
109-15-2 : 解説第一部(評価) 欠陥などの用語の見直し(FSE-23-2)
109-15-3-1 : 解説第二部(評価) 体裁及び欠陥などの用語の見直し(FSE-23-3)
109-15-3-2 : 解説第二部(評価) 体裁及び欠陥などの用語の見直し_規格改定案
109-15-4 : 維持規格事例規格「管台内面丸み部の応力拡大係数算出方法」公衆審査計画
109-16-1-1 : 規格委 LB_No. 611_材料規格正誤表(意見対応)
109-16-1-2 : 正誤表_材料規格(2022/2020/2016-19)
109-16-2 : 規格委 LB No. 612 (Su 値見直し) 書面投票対応 (21NM-012)
109-16-3-1 : 材料規格(2022 年版) 正誤表発行提案
109-16-3-2 : 材料規格(2022 年版) 正誤表案
109-17 : 高温規格分科会審議案件リスト
109-17-1 : ETD24-002_コンクリート製原子炉格納容器に関する引用規格の削除
109-17-2 : ETD22-017_設計緩和強さ Sr の外挿値の使用方法の明確化
109-17-3 : ETD24-001_ (新規) 設計・建設規格<第Ⅱ編高速炉規格> 2022 年版正誤表の発行(その 2)
109-17-4 : ETDW24-001_高速炉溶接規格 2017 年版の正誤表発行
(109-18~109-25 : 欠番)
109-26-1 NBI 高電圧ブッシング用絶縁円筒構造規格審議依頼
109-26-2 NBI 高電圧ブッシング用絶縁円筒構造規格の概要(1)
109-26-3 NBI 高電圧ブッシング用絶縁円筒構造規格の概要(2)
109-26-4-1 材料専門委員会審議資料(1)_レビュー結果総括
109-26-4-2 材料専門委員会審議資料(2)_課題対応一覧(Tracking_list)
109-26-4-3 材料専門委員会審議資料(3)_第 59 回材料専門委員会議事録
109-26-5 【投票対象】NBI 高電圧ブッシング用絶縁円筒構造規格(案)

5. 議事内容

(1) 開 会

出席者を点呼し、定足数（委員総数の2/3以上）を満足することを確認した。

(1-1) 議事次第 確認

(1-2) 前回議事録の確認【資料 109-1】

事務局より、事前配布版からの追加事項等が説明された。挙手による採決の結果、議事録として承認された。

(2) 委員人事

(2-1) 規格委員会及び専門委員会役員・委員人事【109-2】

規格委員会の委員及び各専門委員会の役員・委員の人事案件について報告・審議が行われ、全会一致で承認された。内容は以下のとおり。なお、規格委員会の人事については、次回理事会の承認を以て確定される。

➤ 規格委員会

〔再任〕 平野委員（日立 GE）

〔退任〕 ー

〔新任〕 ー

➤ 火力専門委員会

〔再任〕 早川委員（NIMS）

〔新任〕 ー

〔退任〕 天野委員（3/31）

➤ 原子力専門委員会

〔再任〕 ー

〔新任〕 ー

〔退任〕 ー

➤ 材料専門委員会

〔再任〕 金田幹事（日立 GE）

〔新任〕 ー

〔退任〕 ー

➤ 核融合専門委員会

〔役員〕 幹事：戸張 博之（QST）（4/1～）

〔再任〕 ー

〔新任〕 沖津 茂樹（日立製作所）

〔退任〕 鈴木幹事（日立製作所）（3/31）

(3) 優先的に審議すべき事案またはトピックス

(3-1) 原子力専門委員会 2024 年度活動計画について【資料 109-3-1】

（説明者：原子力専門委員会 山田幹事）

➤ 原子力専門委員会では、単年度の活動計画と中・長期の活動方針を工程として示したロードマップを分科会ごとに作成・更新している。2024 年度版について原専書面投票が終了したのを受け、規格委員会にて紹介された。

➤ 2024 年は設計・建設、材料、溶接規格及び維持規格の改定年にあたる。規格の制定に向けた審議を引き続きお願いする。

主な議論・意見は以下のとおり。

- ・ 他の専門委員会でも活動計画の検討を進めていると思うので、次回以降ご紹介をお願いしたい。

(3-2) 原子力規制庁からの指摘（改定案の範囲、開催案内、解説での要求事項の記載）への対応案：【資料 109-3-2】（説明者：高屋原専長）

原子力専門委員会に対して検討指示があった原子力規制庁からの三つの指摘（要望）事項及びその対応方針（案）について説明された。内容は以下のとおり。

- ・ 規格改定提案の提案パッケージの単位について
- ・ 指摘事項：主に発電用原子力設備規格の改定において、改定箇所を小分けにしたパッケージとして改定審議を行っている。結果として、改定が規格の他の部位に与える影響が見落とされる可能性がある。他の学協会規格（電気協会、原子力学会等）と同様に、規格全体を一気に改定する方式に見直すべきではないか。
- ・ 対応方針案：改定案件によって、審議に要する時間も様々であり、審議結果を効率的に新しい年版に反映していくためには、現状の小分けでの審議が望ましい。また、個別の技術的内容に関する審議履歴や根拠資料を管理する観点でも小分けでの審議が適している。ただし、他の部位に与える影響を見落とす可能性があるとの指摘は理解できるので、提案パッケージの単位を維持しつつ、指摘に対応するための改善策を原専共通課題検討会にて検討する。
- ・ 開催案内通知の遅れ
- ・ 指摘事項：技術評価対象の特定の JSME 委員会（分科会含む）には規制庁職員を出席させることにしているが、一部の分科会で開催案内の通知が直前であったため職員を出席させることができなかった。
- ・ 対応方針案：専門委員会運営規約に準じ、事務局より、原子力専門委員会及び分科会の委員及び常時参加者に、開催日時、場所等を 1 ヶ月前までを目安に連絡する。
- ・ 「解説」への要求事項記載
- ・ 指摘事項：過去の技術評価において、「解説」に本文規定に無いあるいは本文規定を越える要求事項を記載するのをやめるよう、NRA から要望が出されていたにも関わらず、完全には解消されていない。
- ・ 対応方針案：過去に溶接規格の技術評価において指摘を受けた内容については、本文への移行等を実施し、対応を完了している一方で、新たな改定箇所について同様の指摘を受けることとなった。現状の確認及び最初防止の二つの観点から、次の対応をそれぞれ実施する。
 - ①技術評価対象規格について、解説に要求事項が記載されていないか、原専委員で分担して確認する。確認方法については、原専共通課題検討会にて検討し、確定次第、確認作業を開始する。
 - ②再発防止の対応策について、原専共通課題検討会にて検討する。

(3-3) 高温ガス炉規格検討タスクの今後の進め方：【資料 109-3-3】（説明者：高温ガス炉規格検討タスク 野本幹事）

- 高温ガス炉規格検討タスクの今後の進め方の提案：左記の提案が説明され、当面、高温ガス炉実証炉及び実用炉に向けた技術的審議を中心に、高温ガス炉規格検討タスクの活動を進めることが了承された。また、高温ガス炉の規格形態は、HTTR 用科技庁内規の扱いに関し、原子力規制庁に相談を行った後、改めて原専にご意見伺いする方針が了承された。（資料 109-3-3）。

(3-4) 減肉推定手法を活用した T 管の補強板下の減肉管理：【資料 109-3-4】（説明者：配管減肉分科会 中村主査）

- 配管減肉管理に関する技術規格（BWR, PWR）改定提案書 23NH-002 及び 23NG-002 の内容が説明され、書面投票（期間は 30 日間）を実施することが承認された。（資料 109-3-1 及び 109-3-2）

(3-5) 液体貯蔵タンク動的弾塑性座屈解析手法ガイドライン案：【資料 109-3-5】（説明者：SA 分科会 永田主査）

- 液体貯蔵タンク動的弾塑性座屈解析手法ガイドライン案の概要の紹介があった（資料 109-3-2-1）。現在初期不整の導入方法を検討中であり、それを反映したガイドライン案を次回提示し意見伺いの書面投票を提案する予定。これに関して以下のコメントがあった。

- ・ガイドラインの初版は座屈発生の best estimate 方法の提示になるのだろうが、post buckling の評価も今後の課題としてほしい。
- ・座屈発生がタンクとしての機能の喪失と誤解されないように注意すること。

(4) 発電用設備規格に関する審議

(4-1) 発電用火力設備規格に関する審議【資料 109-12】

(説明者：火力専門委員会 飯田委員長)

- 詳細規定 第 I 章 総則の改定案：規格委投票 No. 623 での意見対応及びこれに伴う規格案の修正について説明され、意見者の了解が得られていることを確認した。挙手による採決の結果、意見対応に伴う編集上の修正を行うことが承認された。(資料 109-12-1)
- 詳細規定 第 IV 章 圧力容器の改定案：規格委投票 No. 624 での意見対応及びこれに伴う規格案の修正について説明されたが、確認の範囲が広く審議時間内に確認・判断ができないことから、意見対応完了後に 15 日間のメール審議を行うことが承認された。(資料 109-12-2)

(4-2) 発電用原子力設備規格に関する審議

(4-2-1) 発電用原子力設備規格 設計・建設規格：【資料 109-13】

(説明者：設計・建設分科会 朝田主査)

- 設計・建設規格 2022 年版公衆審査版からの変更及び軽微な編集上の修正に関する提案：以下で以前に承認された設計・建設規格 2022 年版公衆審査版からの変更及び軽微な編集上の修正に関する提案に対して、追加の修正を行うことが承認された。
 - ・ DC22-23「設計・建設規格 2022 年版公衆審査版からの変更及び軽微な編集上の修正に関する提案 (改定 1)」(資料 109-13-1)
- 設計・建設規格 2024 年版改定案(その 1)投票意見対応の審議：以下の DC21-19 (配管応力解析における JIS 長手溶接鋼管の許容引張応力に関する説明の追加)の投票意見対応について説明が行われ、挙手による採決により承認された。
 - ・「設計・建設規格第 I 編」2024 年版改定案(その 1)の提案(発電用規格委員会書面投票対応)(資料 109-13-2)
- 新規改定提案の審議：設計・建設規格 2024 年版改定案(その 3)として以下の[DC19-03] JIS B 0131 ターボポンプ用語の解説での JIS 年版の Update 及び[DC23-25] 2024 年版事例規格集の書面投票入りが承認された。
 - ・「設計・建設規格第 I 編」2024 年版改定案(その 3)の提案(資料 109-13-3)
- NRA 技術評価対応：第 5 回 NRA 技術評価公開会合で出された SCC 事例規格に対するコメントに対する回答が以下で報告された。次回の会合資料に反映する。
 - ・ SCC 事例規格の公開会合でのコメントに対する回答(資料 109-13-4)
- 材料規格及び溶接規格 2024 年版改定の影響評価：3 規格の年版の整合をとるため、材料規格及び溶接規格 2024 年版改定提案に対する設計・建設規格への影響評価を行っており、両規格の改定提案の状況が以下で報告された。設計・建設規格 2024 年版は次回の規格委員会で承認されたものまでとするので、次回に影響評価資料を整理して説明する。
 - ・ 材料規格及び溶接規格 2024 年版改定提案の状況(資料 109-13-5)

(4-2-2) 発電用原子力設備規格 溶接規格(報告)：【資料 109-14】

(説明者：溶接分科会 藤田幹事)

- 溶接規格 2024 年版改定案 投票意見対応：以下の投票意見対応について進捗状況が報告された。
 - ①書面投票 No. 625 「「レーザビーム溶接施工法確認試験の確認項目」の見直し」について、賛成多数にて可決され、保留意見 3 件を含む 5 件の意見について、回答案を検討中である旨の報告がなされた。(資料 109-14-1)
 - ②書面投票 No.626 「事例規格「デジタル検出器を用いた溶接継手の放射線透過試験方法」の制定」

について、賛成多数にて可決され、保留意見 4 件を含む 5 件の意見について、回答案を検討中である旨の報告がなされた。(資料 109-14-2)

(4-2-3) 発電用原子力設備 維持規格に関する審議【資料 109-15】

(説明者：維持規格分科会 野村主査、齋藤副主査、同検査作業会 高木主査)

- 維持規格 2024 年版改定案 新規提案の審議：以下の 3 項目について、原子力専門委員会での審議可決を条件に規格委員会書面投票を行うことが承認された。
 - ① 原子炉容器内表面の検査要求の合理化 (資料 109-15-1)
 - ② 解説第一部 (評価) 欠陥などの用語の見直し (資料 109-15-2)
 - ③ 解説第二部 (評価) 体裁及び用語などの見直し (資料 109-15-3)
- 維持規格 事例規格 公衆審査計画の審議：事務局より以下の公衆審査計画を説明した。レビュー依頼先として ATENA (原子力エネルギー協議会) を追加の上、公衆審査に入ることが承認された。
 - ・対象規格：維持規格事例規 NA-CC-016)
 - ・実施期間：3 月中旬より 1 か月

(4-2-4) 発電用原子力設備 材料規格に関する審議：【資料 109-16】

(説明者：材料分科会 山田主査)

- 材料規格正義表発行：規格委書面投票 No. 611 の結果及び賛成意見 1 件への対応方針について説明された。挙手による採決の結果、同投票を可決とし、正誤表を発行することが承認された。(資料 109-16-1-1、2)
- 材料規格 2024 年版改定案「ASME 規格値を考慮した Su 値見直し」：規格委書面投票 No. 612 の結果及び意見対応方針について説明が行われた。数的な可決要件 (反対はなく投票者の 2/3 以上が賛成) は満足するものの、保留 5 名を含む 6 名から意見が出されたが、意見対応の結果 2 名は事前に保留を取り下げている。当日の議論を通じさらに 1 名が保留を取り下げたため、保留者は 2 名となった。挙手による採決の結果、本議案は承認された。
- 材料規格 2022 年版正誤表の発行：材料規格 2020 年版の技術評価において原子力規制庁から指摘のあった誤記について正誤表の発行提案が説明された。発行準備中の 2022 年版を含め、2011 年版以降が対象となる。挙手による採決の結果、本提案について 30 日間の書面投票を行うことが承認された。(資料 109-16-3-1, 2)

(4-2-5) 発電用原子力設備規格 高速炉規格等に関する審議【資料 109-17】

(説明者：高温規格分科会 鬼澤主査、同設計基準作業会 渡邊主査)

- 高速炉規格に対して以下の新規改定 2 件と正誤表発行 1 件について提案説明が行われた。挙手による採決の結果、原子力専門委員会での可決を条件に 30 日間の書面投票 (No. 637) を行うことが承認された。
 - ① ETD24-002「コンクリート製原子炉格納容器に関する引用規格の削除」(資料 109-17-1)
 - ② ETD22-017「設計緩和強さ S_r の外挿値の使用方法の明確化」(資料 108-17-2)
 - ③ ETD24-001「高速炉規格 2022 年版正誤表その 2」(資料 109-17-3)
- 高速炉溶接規格に対して以下の 1 件の正誤表発行について提案説明が行われた。挙手による採決の結果、原子力専門委員会での可決を条件に 30 日間の書面投票 (No. 638) を行うことが承認された。
 - ① ETDW24-001「高速炉溶接規格 2017 年版正誤表」(資料 109-17-4)

(4-2-6) 使用済燃料貯蔵施設規格に関する審議：審議なし【資料 109-18 欠番】

(4-2-7) 配管減肉管理規格に関する審議：トピックス(3-4)参照【資料 109-19 欠番】

⇒(3-4)

- (4-2-8) 配管耐震評価事例規格に関する審議：審議なし【資料 109-20 欠番】
- (4-2-9) 環境疲労評価に関する規格：審議なし【資料 109-21 欠番】
- (4-2-10) 発電用原子力設備規格 コンクリート製格納容器規格：審議なし【資料 109-22 欠番】
- (4-2-11) 発電用原子力設備規格 シビアアクシデント時の構造健全性評価ガイドライン：審議なし【資料 109-23 欠番】
- (4-2-12) 目標信頼性評価に基づく静的機器の構造評価ガイドライン：審議なし【資料 109-24 欠番】
- (4-2-13) 竜巻影響評価ガイドラインに関する審議：審議なし【資料 109-25 欠番】
- (4-2-14) 核融合設備規格に関する審議：【資料 109-26】
 (説明者：核融合専門委員会 戸張委員)
- 「NBI 高電圧ブッシング絶縁円筒構造規格」制定の審議：新規規格として提案の背景、規格案の骨子について説明が行われた。挙手による採決の結果、規格委員会の書面投票を行うことが承認された。(資料 109-26-1)
- 主な議論・意見は以下のとおり。
- ・超伝導マグネット構造規格に準じて英語版を発行する予定か？⇒そのつもりであるが、まずは日本語版の審議を先行することとしたい。
 - ・投票に際して、現行の核融合設備規格である超電導マグネット構造規格を参照できるようにできないか、説明者から依頼があった。⇒超電導マグネット構造規格 2017 年版を委員が参照できるように事務局にて対応することとなった。
- (5) 発電用設備規格委員会活動状況報告応
- (5-1) 規格委員会幹事会報告【資料 109-4】
 伊阪幹事より 3/11 に開催された第 96 回規格委員会幹事会の概要について説明が行われた。
- (5-2) 書面投票結果【資料 109-5】
 事務局より書面投票の実施状況について資料により報告された。
- (5-3) 質問受付回答状況【資料 109-6-1】
 事務局より、質問の受付及び回答状況について資料により報告された。
- (5-4) 公衆審査報告：新規案件なし【資料 109-6-2 欠番】
- (5-5) 火力専門委員会報告【資料 109-7】
 火力専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。
- 2/28 に WEB 開催された第 107 回火力専門委員会の結果を中心に報告された。
 - 次回 第 108 回火力専門委員会は 5/22 に 対面形式にて開催の予定。
- (5-6) 原子力専門委員会報告【資料 109-8】
 原子力専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。
- 2/29-3/1 に ハイブリッド形式で開催された第 117 回原子力専門委員会の結果を中心に報告。
 - 次回 第 118 回原子力専門委員会は 6/7 に WEB 形式で開催の予定。

(5-7) 材料専門委員会報告【資料 109-9】

材料専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 3/6 に WEB 形式で開催された第 61 回材料専門委員会での審議を中心に活動状況が報告された。
- 次回 第 62 回材料専門委員会は 6/5 に WEB 開催の予定。

(5-8) 核融合専門委員会報告【資料 109-10】

核融合専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 第 84 回核融合専門委員会は 3/6 に WEB 形式で開催された。本日規格委投票を提案した「NBI 高電圧ブッシング絶縁円筒構造規格 (案)」の規格委員会への説明資料の内容確認を行った。超伝導マグネット構造規格の改定案については、規格委員会の審議依頼を見送り、再度金属構造物分科会の協議の後に、専門委員会投票を行う予定であるとの説明があった。
- 次回 第 85 回核融合専門委員会は 6/10 に WEB 開催の予定。

(6) 委員会運営に関する報告／審議

(6-1) 原子力関連学協会規格類協議会の活動状況報告【資料 109-11-1】

伊阪幹事より規格類協議会の活動状況について報告された。内容は以下のとおり。

- 3/11 に開催された規格類協議会の議事内容として、民間規格に対する技術評価の進め方について、原子力規制庁、学協会双方の意見交換の様子が紹介された。
- 次回幹事会は 5/23、本会議は 6/18 開催の予定。

(6-2) 機械学会規格に対する規制庁技術評価対応の報告【資料 109-11-2】

松永副委員長より、技術評価の進捗状況が報告された。内容は以下のとおり。

- 2024/1/16 第 5 回技術評価検討チーム会合（公開 WEB 開催）：溶接規格の回答において、今後改定するとした箇所の取扱いについて 2020 年版としてどうするのかという質問が原子力規制庁からあり、誤記であれば正誤表、規定内容の解釈であれば質疑応答で対応する方法があり、機械学会内部で検討することとした。
- 2024/1/26 原子力規制庁と機械学会の面談（原子力規制庁会議室）：原子力規制庁から、溶接規格第 2 部「溶接施工法確認試験」及び第 3 部「溶接技能確認試験」を技術評価の対象から外してはどうかという提案があったが、これらを外すと使用者の利便性が大きく損なわれることから、機械学会としては第 1 部～第 3 部までセットで技術評価を希望する旨回答した。
- 2024/2/16 原子力規制庁と機械学会の面談（原子力規制庁会議室）：機械学会より溶接規格 2020 年版の溶接施工法の組合せ及び溶接技能更新試験の詳細内容、試験の妥当性を、実施にあたって本文の解釈を明確化する事項について質疑応答にて対応する方針を説明した。

(6-3) ASME Code 委員会に関する報告【資料 108-11-3】

松永副委員長より、1/30～2/8 を中心に開催された ASME B&PV Code 委員会のうち、JSME 規格委員会の運営に関連が深いと考えられる次の委員会の概要が報告された。

- SDO Code Convergence Board (2/5)：添付－1
- Seismic Design Steering Committee (2/1)：添付－2
- ASME/JSME Joint TG Severe Accident (1/30)：添付－3
- ASME/JSME Joint WG RIM Process and System Based Code (2/1)：添付－4

(6-4) 発電規格の出版状況に関する報告【資料 109-11-4】

事務局より、規格の電子は維新及び出版の状況について報告があった。内容は以下のとおり。

- 前回 2023/12/22 の報告以降の進展として、以下の規格の発行または配信サービスが開始されたことが報告された。

<新規制定>

- ・ JSME S NA2-2023 発電用原子力設備規格 高速炉機維持規格
- ・ JSME S NX8-2023 発電用原子力設備規格ナトリウム冷却型高速炉破断前漏えい評価街ガイドライン
＜年版改定＞ （電子版サービスを先行開始、冊子版は準備中）
- ・ JSME S NA1-2023 発電用原子力設備規格 維持規格
- ・ JSME S NJ2-2023 発電用原子力設備規格 材料規格
＜新規事例規格＞（単体として電子配信にてサービス。他に維持規格 2022 年版に合本して提供）
- ・ JSME S NA-CC-015 発電用原子力設備規格 維持規格 事例規格 ニッケル合金溶接接手の亀裂進展

(7) 今後の予定

次回の発電用設備規格委員会の開催予定は以下のとおり。

- 第 110 回 発電用設備規格委員会：2024 年 6 月 27 日（木） 10：00～17：00（ハイブリッド開催）

以 上